

ゆ り だ よ り

春日こども園

令和7年度 活動報告 NO. 4



<万国旗作り～運動会に向けて>

国旗をいくつか見せると「日本!」「アメリカ!」などこの国旗かわかるものが少しありました。万国旗の一覧図や図鑑を置いておくと、いろいろな国旗に興味をもち、世界にはたくさんの国があり、それぞれの国旗に違った図柄があることに気づきました。どの国旗にするかを自分で決め、色や図柄の配置をよく見ながら描いていました。完成した国旗を友達と見せ合い、「星が一緒だね」「似ているけど、色が違うね」などと、いろいろな発見を楽しんでいました。



<僂倅> 楽しみながら友達と力を合わせたり、投げる、転がす、走るなどいろいろな動きをしたりできるよう、子どもたちが大好きな「祭り」の世界をテーマにしました。道具を見ると、「太鼓たたきたい!」「ヨーヨー釣りでできるの?」などワクワクする気持ちがあふれていました。やってみると、おみこしが斜めになって落ちてしまう、太鼓のリズムが合わないなど、うまくいかないことが出てきました。どうしたらいいか話し合う中で、おみこしを上げる時に「せーの!」と掛け声をかけたり、太鼓のリズムを二人で考えたりするなどの意見が出ました。また、法被を着るのを手伝う、太鼓のバチを渡してあげるなど、友達を思いやる姿も見られるようになりました。僂倅を通して、友達と協力しながら自分たちで競技を作り上げたり、競い合ったりする楽しさを感じているようでした。

<バルーン> バルーンが大好きな子どもたち。その思いからか、練習を始めた時には、自分が楽しい思いをそれぞれの形で出してしまい、動きや気持ちがバラバラで揃いませんでした。子どもたちに「バルーンはリズムや気持ちを合わせることが大切」と伝え、「右、左」などの掛け声を掛けながら友達と気持ちを一つにして取り組み、いろいろな技が上手にできるようになりました。バルーンを友達と協力して行うことで、協調性が育ちました。



<組体操> すっと憧れていた組体操。昨年度の映像を見ると、「早くやりたい!」「かっこよくできそう!」と楽しみにする声や意気込みが多く聞かれました。しかし、実際に取り組んでみると、簡単そうに見えた技でも、難しいことがわかり、踏ん張れずに崩れてしまったり、完成できずに悔しい思いをしたりしました。また、痛みや重みが辛く、諦めそうにもなりました。その度、子どもたちと話し合い、どうしたら良いのか皆で考え、気持ちを一つに頑張ってきました。また、技の全てのポジションを経験し、それぞれの大変さに気付くことで、相手を思いながら取り組めるようにもなりました。気持ちが落ち着かない日もあったため、技の完成だけではなく、動き、立ち方すべてが組体操だという話も繰り返していくと、「指を伸ばすんだよ」などと友達に声をかけたり、表情が変わったりしました。組体操への取り組みを通して、仲間と力を合わせたり、目標に向かって自ら練習したりするなど、心の成長も感じました。運動会当日は、一人一人が自分の力を最大限発揮し、真剣な表情で仲間と力を合わせて思いが一つになった組体操に、胸が熱くなりました。



6・8月生まれ



8・9月生まれ

<8月誕生会> 「ステレオゲーム」を行いました。誕生児が4文字の言葉を考え、それを一人一文字ずつ一斉に声に出します。答える子はそれをよく聞き、何の言葉か当てるというゲームです。『さ』って聞こえた!』など、答える子たちは聞こえたことを伝えあうなど協力していました。誕生児も『ささぶね』がいいんじゃない?』『いいね!』など自分たちで話し合ってお題の言葉を決めていました。聞き分けるのが難しく、「もう1回!」と何度も聞き直し、正解した時には大喜びしていました。

<9月誕生会> 「ポーズ当てゲーム」を行いました。「ウサギ」「ライオン」など、誕生児が考えたテーマで一斉にポーズを取り、誕生児と同じポーズをした人が勝ちという遊びです。誕生児の好きな動物をみんなで推測したり、自分なりに考えた思い思いのポーズを取り、友達と笑い合ったりしていました。誕生児と同じポーズになると喜び姿もありました。